

ProMED-mail 情報 2020年8月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介いたします。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
31日	アフリカトリパノソマ症 トーゴ	ツェツェバエが媒介するトリパノソマ属寄生虫病は現在36カ国で発生。トーゴは、アフリカ初の根絶を、1年前に達成。さらに、別の寄生虫病のリンパ性フィラリア症根絶も達成。
30日	セントルイス脳炎ウイルス USA	テキサス州で散発的発生し、1990～2010年間に74名の感染報告。1995年以降にヒト感染なし。ウイルス保有動物は野鳥で、イエカ属が媒介。南テキサスのコープスクリスティで今月の捕獲蚊調査で、2度のウイルス陽性蚊を検出。殺虫剤散布され、ヒト感染報告なし。
25日	赤痢 中国	先週末、上海西のベイハイ町で500人近くが発熱と下痢。報道によると、町の水道が感染源で、300人近く入院し、その多くは老人と子供。中国は富裕都市を含み水道の安全供給に問題あり。
23日	クリミアコンゴ出血熱 イラン	保健当局によると毎年100～150人の感染報告。今年は38人の確定例中5人死亡。適切な治療を受けても致死率10%、未治療なら50%。
16日	ウエストナイル熱 スペイン	アンダルシア地方で19名髄膜脳炎の発生有り、8月13日に11名の確定診断。17名が入院し、7名が集中治療と報道。ウエストナイルウイルス感染の80%は無症状。20%は有症となり、重症例で脳炎発生し、1%の致死率。
14日	COVID-19 ニュージーランド	8月11日、オークランドで100日ぶりに陽性確認。8月13日までに17例のクラスターへ拡大。ウイルス遺伝子型は、英国、オーストラリアの流行型と同一。感染者のうち何人かは輸入冷蔵食品倉庫で働いており、食品貨物が感染源の可能性あり。また帰国者検疫施設も可能性あり。
12日	マラリア インド	今年8月8日までのニューデリー市内のマラリア患者数は45例。マラリア型別、市外旅行歴の発表はないが、市内28,578家屋で媒介蚊の繁殖が確認されているため、市内流行は当然と推測。
11日	デング熱 南北アメリカ	本年8月1日までの南北アメリカ全体で、総数1,914,207例、確定数859,930例、重症数4079例、死亡数686例の報告。ブラジルが大半を占め総数1,278,565例、確定数677,664例、重症数714例、死亡数443例。
9日	ペスト 中国	8月6日、内モンゴル自治区包頭市の住民1名が腸ペストで死亡。居住村民は隔離検疫。村周辺地区もペスト警戒レベル4段階中の第2段階に設定。2009年～2018年の間、中国全体の報告は26例で11例が死亡。
8日	重症熱性血小板減少症候群 中国	本年江蘇省にて37名のSFTS診断。2009年初めて中国にて報告されたダニ媒介性の新型ブニヤウイルス感染症であるが、ヒトヒト感染も警告。2017年の感染例では、死亡患者血液に接触し、16名の感染発症。
4日	COVID-19 ノルウエー	7月31日北部ノルウエーのトロムソ港にて、検疫中のフィテルーテン社の北極探検客船MS ロアールアムンゼン号の乗員、乗客41名にCOVID-19検査陽性。フィテルーテン社の全クルーズ船運行が中止。
2日	黄熱 仏領ギアナ	アマゾン森林地帯の上マロニ地域在住の14歳男児が、7月12日に発症し、19日に死亡。2017年以降、同国3例目の黄熱確定例であり、COVID-19との同時感染の第1例目。上マロニ地域住民の黄熱ワクチン接種率は95～100%であり、罹患者男児も生後18ヶ月にワクチン接種歴があった。